

## 第3回高知県立学校の校名に関する検討委員会 会議録

### 1 開会及び閉会に関する事項

開会 平成28年5月18日(水) 18:30  
閉会 20:05

### 2 場所

高知共済会館 3階「大ホール 桜」

### 3 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	委員	池 康晴
	委員	池田 あけみ
	委員	稲田 知江子
	委員	川北 恭弘
	委員(会長)	西郷 和彦
	委員(副会長)	時久 恵子
	委員	西尾 洋之

### 4 高知県教育委員会事務局の出席した者の氏名

高知県教育委員会	教育長	田村 壮児
高知県教育委員会事務局	教育次長	藤中 雄輔
〃	教育次長	北村 強
〃	高等学校課課長	高岸 憲二
〃	高等学校課企画監(再編振興室長)	坂本 寿一
〃	高等学校課課長補佐	高野 和幸
〃	高等学校課再編振興担当チーフ	松井 竜太
〃	高等学校課主査	久保 義博
〃	高等学校課指導主事	前野 佐希子
〃	高等学校課指導主事	野中 昭良
〃	高等学校課指導主事	清水 宏志

### 5 傍聴

39名

### 6 内容

#### 【開会】

司会	<p>定刻になりましたので、ただ今から「第3回高知県立学校の校名に関する検討委員会」を開催いたします。</p> <p>次に、本日の日程について説明させていただきます。</p> <p>次第をご覧ください。本日は、前回の各校の学校代表の方々からの意見も踏まえ、校名候補の決定方法等に関する協議を行っていただくこととなっております。</p> <p>次に、配布資料について確認させていただきます。</p> <p>クリップ止めの資料が1部ございます。一つは、次第が表紙</p>
----	---

	<p>になりました資料で、内容は、次第、委員名簿、検討委員会設置要綱、スケジュール、会議録、そして資料1、資料2、参考資料1、参考資料2となっております。また、別紙といたしまして「本検討委員会の傍聴要領」がございます。</p> <p>不足している資料がございましたらスタッフまでお知らせください。傍聴の皆様もよろしいでしょうか。</p> <p>次に、傍聴に関してのお願いをお伝えいたします。</p> <p>本検討委員会では、受付で配布させていただいた傍聴要領のとおり、私語や拍手など会議の支障となる行為をしないようお願いいたします。協議中にこのような行為があった場合、会長が注意し、なお改められない場合には、申し訳ございませんが退場していただくこととなりますので、あらかじめご承知ください。</p> <p>また、会議中の録音及び撮影についてですが、第1回の会議の際に要望がございまして、協議の結果、この会議では報道関係者以外の傍聴の方の録音及び撮影は控えさせていただくこととしておりますので、ご理解、ご了承いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、議事に移らせていただきます。ここからの進行は、会長にお譲りいたします。会長、よろしくお願いいたします。</p>
--	--

## 【校名候補の決定等に関する協議事項】

### ア 学校関係者の意見について

<p>会長</p>	<p>それでは、次第にしたがって会を進行したいと思えます。</p> <p>本日は、「校名候補の決定方法等に関する協議事項」となっております。</p> <p>議事の進行については、必要に応じて事務局からの資料説明等を行っていただきながら、次第に従って、順次、進めさせていただきたいと思えます。</p> <p>それでは早速、次第の「(2)ア 学校関係者の意見について」行いたいと思えますが、資料1について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>企画監</p>	<p>資料1の「学校関係者の意見について」という資料がございますので、それをお開けください。資料は大分後ろの方でございますが、資料1でございます。</p> <p>まず1にございます、第1回、第2回の会議で統合校の4校の学校関係者の皆様からご提出いただきました要望書の、校名に関する部分を記載しております。</p> <p>次に、下にございます、2では、第2回の会議で学校関係者の皆様にいただきました校名候補の決め方につきまして、大きく3つの項目に関するご意見がございました。</p> <p>一つ目は、公募に関すること。それから、2つ目は、校名候補についての関係者間の話し合いの可能性に関すること。それ</p>

	<p>から、3つ目としまして、校名候補の決め方に関すること。この3点でございました。</p> <p>一つ目の公募に関しましては、高知南中高校の方からは「公募を実施する場合は数の理論などにならない方法で決めてほしい」というご要望がございました。その他の3校の皆様につきましては、「公募を実施」というご意見でございました。</p> <p>それからもう1点、公募に関するところで、公募する場合の応募の範囲や対象につきましては、「県外も含む、外国籍の方も含む」といったご意見、それから、「生徒が通学している範囲」というご意見、それからまた、「校名を選んだ理由、思いを聞いてもらいたい」というご意見がございました。</p> <p>それから、2つ目の統合校の関係者同士の話し合いの可能性という点につきましては高知南中高校、それから高知西高校からは、「話し合えないわけではないが話し合いで落ち着くのか不安はある」と。それから、「話し合いは難しい」といったご意見がございました。それから、須崎工業高校と須崎高校からは、「話し合うつもりはある」「話し合いはできる」というご意見でございました。</p> <p>それから、3点目の決め方に関しましては、高知南中高校からは、「両校が希望する校名を出し合い、合致しない場合はその中から検討委員会委員に選んでもらいたい」というご意見。それから、高知西高校からは、「公募を実施して決めてもらいたい」というご意見でございました。</p> <p>それから、須崎工業高校、須崎高校からは、「校名候補の案が出た段階から須崎高校の関係者と一緒に協議できたら」、それから「校名決定のプロセスに両校関係者が関与できるようにしてほしい」というご意見でございました。</p> <p>以上、簡単でございますが資料1の説明を終わります。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。</p>
	<p>それでは、添付資料にも第2回の会議録がありますし、それまで提出された意見書などでも述べられていた内容と相違ないと思いますが、委員の皆様、この内容どおりであるということで、ご確認よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>〈 異議なし 〉</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。それでは、この内容を踏まえて次の協議を進めたいと思います。</p>

## イ 校名候補の決定方法等（県民の意見の聴き方を含む）について

会長	<p>次に、次第の「イ 校名候補の決定方法等（県民の意見の聴き方を含む）について」、協議を行います。</p> <p>それでは、事務局から資料 2 及び参考資料 1、2 について説明をお願いいたします。</p>
企画監	<p>次の資料 2 をお開けください。資料 2 の校名候補の決定方法等についてご説明させていただきます。</p> <p>1 にございます、校名の決定方法の前提条件の確認というところがございます。これは、1 回目にもご説明させていただきました、再編振興計画に定めております 3 点を記載させていただいております。</p> <p>(1) にございます、「両校の学校関係者の意見を聴く」ということにつきましては、前回、第 2 回で学校関係者のご意見をお伺いし、今後も節目でご意見をお伺いする予定となっております。</p> <p>それから、(2) の「県民の意見を聴く」という点につきましては、計画で定めておりますものの、その具体的な方法については決めておりません。つきまして、次の 2 の協議事項にございますように、今回の会議で「県民の意見を聴く」ということ具体的な方法を決めていただくのが、本日の会議の協議事項となっております。</p> <p>学校関係者の皆様からのご意見にもありましたように、一つは、「公募を実施して意見を聴く」という方法、それからもう一つは、「公募以外の方法で意見を聴く」という方法に分かれてまいります。</p> <p>それから、次の参考資料 1 をお開けいただけたらと思います。参考資料 1 で、「校名候補の決定方法及び他県事例数」というところがございます。</p> <p>事務局で調べました過去 4 年間の他県の事例の中では、検討委員会を設置したのが全部で 24 事例ございました。そのすべてで公募を実施しております。</p> <p>そのうち、公募を実施した後の進め方としまして、検討委員会が校名候補の絞り込みを行ったというのが 23 事例ございます。それから、その下にございます、統合する高校の管内の中学生にアンケートを実施した後に、検討委員会で絞り込みを行ったというのが 1 事例ございました。</p> <p>それから、校名候補の決定方法として他に考えられる案としまして、特定の校名候補を事前にお示ししたうえで、それを公募すると。その後に、検討委員会で校名候補を絞り込むということも考えられますが、他県の事例としてはございません。</p> <p>以上で、簡単ですが参考資料 1 の説明とさせていただきます。次に、4 ページにございます、参考資料 2 をお開きいただけたらと思います。「近年の他県等の統合校一覧表」という資料がございます。この資料につきましては、第 1 回の会議でお示</p>

	<p>しした資料と基本的に同じ内容となっております。</p> <p>先ほどの検討委員会を設置した場合の24という事例は、この中から抜き出したものでございますが、右から2つ目の列の「委員会設置の有無」という欄がございます。ここに「設置」と記載したものが、先ほどの24となっております。</p> <p>以上で、資料2、参考資料1、2の説明を終わらせていただきます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、「県民の意見を聴く」について、どのように行っていくかについて協議していただきたいと思います。</p> <p>事務局の説明にもありましたが、今回の校名決定の前提条件としては、「県民に意見を聴く」というものがあります。そこで、しつこいようですが重要なので、もう一度私の立場でまとめさせていただきます。</p> <p>一つの前条件が「県民に意見を聴く」というものでしたが、もう一つの前条件である、「両校の学校関係者の意見を聴く」に基づきまして、前回の検討委員会で学校代表者の意見を聴取いたしました。</p> <p>その意見では、高知西高校、須崎工業高校、須崎高校は公募を希望され、高知南中高校は、まずは「両校関係者が希望する校名を出し合い」という方法を希望されました。そして、公募については、「公募を実施する場合には、数の論理などにならない方法で決めてほしい」というご意見だったと理解しております。</p> <p>この意見を踏まえて、「県民の意見を聴く方法」として、「公募を実施して意見を聴く」方法なのか、「公募以外の方法」を私ども、この委員会で考え出してやっていくのか、どちらがよろしいか、委員の皆様からご意見を聞きたいと思います。それでは、ご意見よろしくお願いいたします。</p> <p>では、よろしくお願いいたします。</p> <p>意見をということですのでけれども、参考資料の2を見ましても、公募実施をしている例が多いと思うので、やはりここは他県にも準じていく方が、皆さんの納得のうえでもいいんじゃないかというふうに私は思います。</p> <p>はい、ありがとうございます。他に何かご意見ありますでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>委員のお考えに賛成でございます。県民の皆さんのご意見を聴く方法はいくつか考えられるかとは思いますが、一般的であることと、広く皆さんのご意見が含まれるという観点からいけば、公募が一番勝っているのかなと思います。</p>
--	--

会長	<p>はい、ありがとうございます。他に何かご意見ありませんでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
副会長	<p>私も公募がいいと思います。やはり、色々な方法が本当にあると思いますけれども、意見が言いやすい、そして広く意見を集められるというようなことでは、それがいいと思います。</p> <p>それから、県立の高校ですので、県内のみんなが本当に大事にしている学校の名前なので、そういう意味では、みんなが参加型で公募する方がいいじゃないかと思っているところです。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。他に何かご意見ありませんでしょうか。</p> <p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>私もやはり、公募という方法が一番いいのではないかなと思います。公募以外の方法というのが、具体的にあまり思い浮かばないということがありまして、他県で多く実施されているのも一番、県民の声を聴きやすいということがあると思いますので、公募ということがよろしいかなと思います。</p> <p>ただ、結論として、数だけの論理にならないようにというご希望もございましたので、そこは、十分考えてやっていかなきゃいけないのかなというふうには思っております。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。他には、どうぞ。</p>
委員	<p>はい、私も同じく公募の方がいいです。応募する中で、名前を考える方の想いを知りたいです。どうしてそういう名前にしたのか、そこまで書いてもらい、それを皆さんにオープンに出すという形でやっていかないといけないのかなという思いがしますので、ぜひ公募の方で実施をと思います。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
委員	<p>はい、私も公募に賛成です。県立学校であるということで今後、長い間、県民のための学校であるべきだと思いますので、県民を含め、多くの方々の意見を聴くべきだと思っています。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。一通り皆様のご意見をお聞きしたわけですが、私自身も公募がいいかなと思います。</p> <p>先ほど稲田委員がおっしゃったように、ほかの方法があるかということで、いくつか考えてみたんですが、例えば、この委員会ですら10個なら10個の名前を考えて、それでアンケートというか、県民の意見を聴くというような方法もありますし、そう</p>

	<p>いうことを考えた県もあると聞いております。</p> <p>しかし、やはりそこには、我々の恣意がどうしても含まれてしまう。どこかにそういう、ここの委員の恣意が入るような方法は決して好ましくないということで、やはり公募でやるのがいいと思います。</p> <p>それからもう一つ、やはり高知県の皆さんに、高知県の教育をこれからどうするべきかということを経済委員会が真剣に考えている。そして、地域の皆さんがどのようにそれに参加できるか、そういう考えることのきっかけにもなるというふうに思いまして、私自身は公募がいいかなと思った次第です。</p> <p>高吾地区の新しい拠点高校は、幅広い生徒の希望を叶えられる、いろんな分野にいけるような配慮をする。そして、西と南の新しい統合校は、今までの公立高校にはない、国際バカロレアを目指し、グローバルな世界で活躍できる人材を育てると、大変高い理想をもってつくられるわけですから、そういうものに対しても、県民の皆さんのご理解をいただくうえで大事なことかなと思っている次第です。</p> <p>では、特に公募以外というご意見が出ておりませんので、当委員会としては、県民の声を聴く方法として公募をするということによろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
会長	はい、それでは、公募をするということになりましたので、その次のことを議論したいと思います。

ウ その他

<p>会長</p>	<p>それでは、県民からの意見の聴き方としては公募によって行うということで、次に、次第「ウ その他」として、どのように公募を実施するかについて協議したいと思いますが、委員の皆様、よろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、それでは、前回のこの検討委員会で、私の方から他県の例について、先ほど2つのケースがありましたが、それについて、あらかじめ資料を用意しておくよう事務局にお願いしておきましたが、公募するということになりましたので、その資料を会場の皆様、それから委員に配布していただけますでしょうか。</p>
<p>企画監</p>	<p>はい、前回、会長からも事前というお話がありましたので、公募になるかならないかも含めて資料を準備しておりました。それで、公募につきましては、他県の事例がございましたので用意できております。そうでなかった場合は、事例がなかったので、申し訳ないですが資料としてはありませんが、ご用意した資料をお配りさせていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしくお願ひします。</p> <p>〈 資料配付 〉</p>
<p>会長</p>	<p>皆様、お手元に届きましたでしょうか。まだの方、ちょっと手を挙げていただけますか。</p> <p>〈 配付確認 〉</p>
<p>会長</p>	<p>はい、それでは資料3について、事務局の方から説明をお願いします。</p>
<p>企画監</p>	<p>今お配りしました資料について、資料3から最後の資料まで、一括して説明させていただきます。</p> <p>公募を実施する場合の具体的な方法につきまして、他県の具体的な事例を取りまとめておりますので、先に参考資料3-1をお開けいただけたらと思います。</p> <p>公募を実施しました事例のうち、現在ホームページ上で確認できます事例として、教育委員会に許可が得られたものが、この4つとなっております。それで、他の事例につきましては、校名を決定した後にホームページへの掲載を止めているという場合が多々ございますので、閲覧できない状態となっておりますことから、この4つが今現在把握できる資料となっております。</p>



す。

資料 3-1 の上から順に、①の応募資格、②の応募方法、③から⑤につきましては応募する人の重複を確認するための記載方法となっております。それから⑥の募集期間、それから⑦の募集の周知方法、⑧の公募結果の公表の方法、⑨の応募結果の数の取扱に関する記載。⑩の校名案の取扱は応募のあった校名候補を組み合わせる場合を想定して、あらかじめ記載するという例。それから、⑪が意見を聴く際に添付いたします参考資料、それから、⑫が公募を実施する場合の機関、⑬が公募の提出先という表で取りまとめをさせていただいております。

それから、次の参考資料の 3-2 から 3-5 までが先ほどの表の 4 つの事例の、具体的にホームページ等で公募する際の、それぞれの自治体が作成しております掲載資料となっております。

次に、参考資料の 4-1 から付けております資料は、本県で公募を実施するとした場合に、こういった資料を提案していただける方にお示しできる資料案として付けております。

参考資料 4-1 は、現在の高知西高校、高知南中高校の統合後の新しい中高一貫教育校の姿ということで、第 1 回目の資料としても使わせていただきました、その姿の資料でございますが、これは、もし公募時にこれを使うということになりましたら、データをその時に改めて最新のものに変える予定でございます。

次の参考資料 4-2 も、前回、1 回目にお示しした資料を基に若干修正も加えておりますが、新しい学校の学校像。それから、次の参考資料 4-3 がパース図と、新中高一貫教育校の基本設計段階でのイメージ図となっております。

それから、参考資料 5-1 から須崎高校、須崎工業高校の統合後の新しい学校の姿。それから、5-2 が学校像。それから、5-3 が同じくイメージ図ということで、いずれも第 1 回目の資料でお示ししておりますが、こういったことを案として考えております。

資料 3 以降の資料につきましては、以上で説明を終わらせていただきます。

会長

はい、ありがとうございました。

他県で公募をした場合の、どういうカテゴリーで質問をしているかというのを取りまとめたのが、資料の 3、①から⑬というふうに書き留めておいていただきました。この 13 項目以外に、何か項目を考えたらいいというのがございますでしょうか。よろしいでしょうか。

順番に議論させていただきますので、もしかしたらその議論の過程で、一つの項目を 2 つに分けた方がいいとか、2 つを一つに統合した方がいいというご意見もあるかと思いますが、その時は、遠慮せずにどんどん言っていただきたいと思います。

	<p>それでは、事務局の説明が終わりましたので、この資料3の①から⑬について順次、協議していきたいと思います。</p> <p>まず、①の応募資格について、どのようなご意見か、お聞かせいただけたらと思います。</p>
会長	はい、どうぞ。
委員	<p>県内にするのか全国にするのか、あるいは世界にするのか、という話だと思うのですが、そのあたりについて、基本的に公募って県内なんだろうなと思いますけど、卒業生の方とか、いろんな方が全国に散っていらっしゃると思うので、そのあたりはあまり範囲を設けずに全国なら全国でいいのではないかなと思うのですが。そのあたり、どうなのでしょうね、他の委員の方のお話を聞いてみたいと思います。</p>
会長	はい、いかがでしょうか。
委員	<p>広すぎますかね。皆さん、結構全国にいらっしゃるし、高知西の方からそういうご要望も、確か前回出ていたように思います。</p>
会長	<p>はい、広い範囲では、外国籍の方も含めて広く聴いてほしいというご意見もありましたし、狭い範囲でということでは、高吾地区の意見を聴けばいいというご意見もありました。かなり大きさに差がありますが、いかがいたしましょうか。</p>
会長	はい、どうぞ。
委員	<p>私も対象範囲に、それほどこだわる必要はないのかなという気がいたしています。案でするのでどなたでもいい、高知県に想いを寄せ、その学校に想いを寄せていただければ、案としては提案していただいているのかなと。</p> <p>あと、1名の応募数が1案であるとか、国籍・年齢についても特に問わないというのは、他県もそうなので、これに準じていいのかなと思っています。</p>
会長	はい、ありがとうございます。他に何かご意見ありますでしょうか。どうぞ。
委員	<p>はい、私も同じく、全国でいいと思います。その範囲内をどこまで絞っていくのかというのがすごく大事なところだと思いますので、その辺を踏まえてやっていった方がいいのかなと思います。</p> <p>それと、他県の公募内容を見てみると、西日本の方が多いのかなと思います。関東圏の方はなかったのかなというのが、す</p>

<p>会長</p>	<p>ごく見てみて思いました。</p> <p>はい、ありがとうございます。西の方がオープンマインドなのかもしれません。</p> <p>他に何かご意見ありませんでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、私の方もこの3-1に書かれているように、一つは1名の募集は1案というのがいいと思います。これは数の問題という、一人がたくさんということよりは、一番これをとるものを出していただくのが一番いいと思っています。</p> <p>それから、私も対象を広く公募をした方がいいと思います。理由は、先ほどご説明いただいた参考資料の4-1とか5-1の、これからできるこの高等学校の姿を見て、本当に高知県にこういう学校ができると、なんか見てワクワクする学校ですね。</p> <p>今までもずっとこの学校の、今までの資料をずっと見せてはいただいていたのですが、やはりこういうふうにとまとった形で見ると、本当に嬉しい学校だと思うんです。これをやはり広く皆さんに紹介をしながら、想いを寄せていただけたらと思います。</p> <p>そのことと、もう一つ理由は、この前、学校関係者のご意見をお聴きした時に、やはりそこで学んだり、その保護者であったりという方々にとりましては、本当に想い入れを強くして、学校を未来へ引き継いでいこうという、その熱い想いがとても感じられて、学校ってやはりそうなんだと思ったのです。</p> <p>けれども、今在学している人だけというよりは、やはりこれからいろんな人がこの素晴らしい学校で学ぼうとするわけですので、そういう意味でも、こういう学校を広く紹介をしながら、みんながこの校名を考えていくという、そういう機運を盛り上げていくという点でも、広い方がいいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。他に何かご意見ありますでしょうか。</p> <p>それでは、私の意見を申し上げたいと思いますが、これはやはり、全国に公募をお願いした方がいいのではないかと。それはやはり、高知県を知ってもらうこと、高知県の持っている教育に対する情熱を知ってもらうこと、そういうことに必ず役に立つと思いますので、ぜひ全国に向けて公募の発信をしていきたいというふうに思う次第です。</p> <p>それから、もう一つ、こういうことを申し上げるのは大変失礼かもしれませんが、私どもの大学では、ある事例について、その専門分野の人というのは当たり前であまり気の付かないことを、他分野の方がこういうふうに見えると言っている、そういうことがやはり、自分たちの精神の発展に非常に</p>

	<p>役に立つということを経験しています。</p> <p>そういう意味では、それが採用されなくても、県外の方が高知をこういうふうに見てくれて、こういう名前を考えてくれたんだというのは、必ず高知県の今後の教育に役に立つと思いますので、私としても、ぜひ全国に公募をかけたいというふうに思っております。</p> <p>ということで、まだちょっと発言していただけてない方もいらっしゃると思いますが、これ、全国に公募ということによろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>〈 異議なし 〉</p>
会長	<p>はい、では①については、制限を設けず全国に行う。</p>
委員	<p>すみません。よろしいでしょうか。</p>
会長	<p>はい。</p>
委員	<p>この資料3に年齢というのを書かれているのですが、年齢も問わなくていいのではないかと思います。これは、連動して下の方に、その理由とか由来というところがありますが、子どもたちがもし応募してくれたとしても、それは関心を高めるのにそれもいいと思いますが、その時にこの理由を、確かでもなくてもいいのですが、思いだったり、そういうものがとても大事だと思うので、年齢も幅広くていいのではないかと思います。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。司会進行がまずくて、これを3つに分けてやろうと思ったのが間違いだったようでして。</p> <p>対象の範囲は全国、それから、国籍、年齢についても全国に求めるということは、国籍を問わず、年齢も問わないということの意味していると思いますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。では、一番の応募資格については、今のように、全国で国籍、年齢を問わず公募することにしたいと思います。</p>
委員	<p>委員が、若干ご意見をおっしゃいましたが、1名の応募数というところは、またこれは議論をしなくちゃいけないのかなというふうに思うのですね。</p> <p>私は、1名の応募数というのは特に限らなくても、これはいいのかなというふうには、個人的には考えます。複数でやはり、</p>

	その方の中でも絞り切れない場合もあると思いますので、それはそれでよろしいのかなというふうには感じます。
会長	その点いかがでしょうか。はい、どうぞ。
委員	はい、そうなってくると、例えば私が 30 とか 50 の案を考えるとしますよね。そうなった時に、その公募の中にいいものがあるかないかは別としてですが、なんかその辺の、一枚に対する数の論理じゃなければ、お一人お一人がどれくらい考えても、それはそれでいいっていうご意見ですよ。
委員	まあ、それは極端な。
委員	少し極端ですが、なんか考えるというか、そういうことかなと思ったんですが、そういう認識でいいですね。すみません、申し訳ないです。
委員	はい。ただ、特にはこの点、こだわるものではないです。皆様のご意見が、1 名だったら一つということであればそれはそれでかまいませんし、ただまあ、制限しなくても、公募という自由な形を取るのであればいいのかなというふうに感じたということです。
会長	はい、他に何かご意見ありますか。
会長	どうぞ、西尾委員。
委員	委員の考えに反対では決してないのです。いろんな案がどちらの人の中にもあるのだらうと思いますが、その理由だとか想いだとかということ添付するとなると、この案にはこんな理由があるというの、あまりちぐはぐになってもどうなのかなと思いますので、私個人としては、ご自身が考えられてこれが一番いいというものを、ぜひ提案していただくのがベターかなと、そう思います。
会長	いかがでしょうか。はい、どうぞ。
委員	はい、私としても、それが委員の皆様の総意というか、多い考えであれば別にこだわるものではなくありません。
会長	では、ほかの委員のご意見はいかがでしょうか。それでは池委員、お願いします。
委員	はい、もう理由は同じです。1 案でいいと思います。

会長	はい、どうぞ。
委員	そうですね。私も委員が言われたように、公募するなら自由な発想というのは、それは基本的にはとても、大体そういうカテゴリーなのですが、ただし、心を込めてこれっていう時に、いくつもいくつもと、思いついたのを全部、次から次からみたいなことではなくて、やはり、これにという想いを込めて出していたらいいなという気持ちもあって、1案でいいのかなと思ったところです。
会長	はい、どうぞ。
委員	はい、私も実はこの最初に言いましたが、やはり理由・由来っていうことが大事だと思うので、委員みたいに30も50も、そうなったら話が違いますが、やはり1案の想いでなんとかお願いしたいと思います。
会長	はい、ありがとうございます。 ということで、私も委員のおっしゃること、よく分かります。よく大学では使う手で、学生に5つ考えろとか、その中に1個いいものがあれば、よく考えているなというような判断をするということはよくあって、複数考えても、ある意味では重要な場面もございます。 しかし、先ほど、私申し上げたように、他県などから応募していただく時に、やはり高知の声を新しい高校に、こういう想いを持った、表した校名だということを考えていただく、もちろん高知県民の皆さんにも、そういうことを考えていただくということを考えますと、やはり1案にした方がいいかなと思います。 そういうことで、決して多数決ではないのですが、申し訳ありませんが、一人1案ということにさせていただきたいと思いますが、ご了解いただけますでしょうか。
委員	はい。
会長	はい、ありがとうございます。 では次に、応募方法についてですが、応募用紙の要否についていかがでしょうか。これは皆さんにお聞きするまでもないような気がしますね。自由形式だったら、何を書いてきたかという整理もできませんし、やはり応募形式をちゃんと揃えて、それに書いていただくというのは必須だと思いますが、いかがでしょうか。
各委員	賛成。

<p>会長</p>	<p>なお、ウェブ上でダウンロードできるような工夫は必ずしていただきたいと思います。それは非常に大事で、今ウェブを使う人が多いので、ダウンロード、あるいは PDF の上に上書きできますので、上書きして応募できるとか、そういう方法をぜひ考えていただきたい。</p> <p>例えば、郵送、FAX なんていうのはもう時代遅れで、順番としては、電子メール、FAX、郵送ですね。多分、そういう順番で皆さん使われていると思いますので、特に電子メールを使われる方が簡便にできるということが、より多くの応募をいただける要因になると思いますので、事務局の方はそれをちょっと考えておいてください。</p> <p>では、この応募用紙の要否は一方的に私が発言をしてあれですが、よろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>では次に、提出方法については、熊本県は応募箱を置いており、目安箱みたいでなかなかおもしろいですが、どうでしょうか。統合校に設置するというのも、他県の例に書いてありますが。</p> <p>メール・FAX・郵送以外の方法を取る必要がありますでしょうか。ご意見ありますか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>どこへ持っていくのかということにも関係するかなとは思いますが、持参をする、別にその人の想いをそこで聞くとかいうことではないのですが、郵送以外で近くに寄ったからということで、ご自身が考えられた応募用紙を提出されるということも、あってもいいのかなと。全部、郵送か FAX かでないダメだということだと、ちょっと手間かなという人も逆にいるかもしれないなと思うのです。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。他に何かございませんでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>私も持参という方法には賛成をします。その持参の持参先ですね、それがどこかっていうところがまた問題になるのかなというふうには感じます。熊本のようにそれは、応募箱を設置するというのは、1件しかないことではないのですが、それよりは、私個人の考えとしては、やはり事務局等に統一した方がよろしいのかなと思ったりはします。</p>

<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。他に何かご意見ありませんでしょうか。</p> <p>それでは、私の考えておりますのは、ちょっと統合対象校に持っていくということが、透明、フェアであるかということにやや疑問を持ちます。そういう意味では、県のどこかに持っていくということになりますが、県の教育委員会は高知市しかないわけですね。</p> <p>ということは、県の出先機関で東と西の事務所がございませうかね。そういう所に置かせてもらうというのは可能なのでしょうか。高知市内だけに置くということも、私、抵抗があるのですが。</p>
<p>教育長</p>	<p>事務所がございませうけれども、事務所でパンフレット類を配るということはよくあります。ですが、そこで、こういったことの公募を受け付けるというのが、教育委員会以外の所属ということになってしまいますので、ちょっとプラスアルファの仕事を頼まなければならないということになります。あまりそういった例もないような気がしますので、若干難しいと思います。</p> <p>もし頼むのであれば、例えば、県立学校であるとかいうことであれば可能かなという気はしますけれども。</p>
<p>会長</p>	<p>例えば、統合校以外の県立で東に1校、西に1校選んでいただいて、あとは県教育委員会、そういうことは可能であると。</p>
<p>教育長</p>	<p>まあ、そういうことは可能だと思います。その際は、必ずしも1校とかいうことに限らなくても、県立学校では受け付けますよというようなことでもいいのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、分かりました。では、私の方から、少し提案させていただきます。電子メール・FAX・郵送以外に、統合校以外の県立高校で受け付けいただくということではいかがでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>統合対象校以外で他の高校についていう、その必要があるのかな、どうかなというのを少し思いました。</p> <p>それならば、郵送・FAX・電子メール、ウェブ上で、PDFでっていう方がいいのではないかなと、少し感じましたけれども。そのあたりで、統合校は外したうえで、他の高校にとかいうのはちょっとピンとこないかなと思ったのですが。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>私も委員のおっしゃることに賛成をします。やはりこれ大事な意見ですので、きちんと管理ができる体制の方がよろしいのかなというふうに思いました。</p>



	<p>持参というのは、先ほど委員からご提案をいただいたように、せっかく持って来た方が、ついでがあつて渡せるとか、そういう時に渡すというのが基本であつて、そうでない場合は、やはり郵送・FAX・電子メールというのが、かなり幅広い方法であるとは思いますが。また、会長がおっしゃるように幅広く持って行ける場所があるというのは、便利ではあると思いますが、対象校を外すというのも、今一つアンイーブンな感じがします。</p>
会長	<p>はい、分かりました。はい、どうぞ。</p>
委員	<p>少し考えていたんですが、各市町村の教育委員会なんかどうかかなと思つたんですけど、まあそれはどうなるか分かりませんが、それだったら全然オープンだし、全然そういうこつちにあつちにとつちという話じゃないと思うんですが。</p>
会長	<p>それは可能でしょうか。</p>
教育長	<p>市町村が無理だと、本当にいっさい扱ってもらえません。やはり、他の市町村組織にお願いするという形になりますが、それは少し難しいのではないかなと思います。</p> <p>逆に、さっき県立学校ということで申し上げましたけれど、県教委の教育事務所が県内に3か所ありますので、その教育事務所ということでは、西と東と中央ということなので、持参場所としてはそこもあるかなとは思いますが。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>先ほど言われていたように、管理上の面がありまして、幅広くというのは、本当に基本的にはいいことなのですが、一つひとつがとても重要な提出物になってくるので、それに多分期間も長いので、そこのあたりの管理上の、1枚でも無くしたら大変ということがあるので、教育事務所あたりだったらまだ可能かもしれませんが、あまり色々するよりは、もう一括した方がいいのかなとは思いますが。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>すみません、持参ということをつたつたばかりに、少し蒸し返して。私のイメージは窓口一本です。</p> <p>例えば、教育事務所で持参は受け付けるけど、メールは受け付けないよとか、FAXは受け付けないよということは、なかなか難しくなりますので、先ほどの管理上の問題もそうですし、様々なことを考えても、窓口は本庁一本でいいのかなと。</p> <p>そこへ直接持って来た人に、直接は受け取れませんか、郵送してくださいと言うのもどうなのかということで、持参も OK</p>

	<p>ではないですかというくらいの提案でございまして、もしそれが不適切であれば撤回させていただいてかまいませんが、あまり多方面にまたがると、ちょっとしんどいかなという気がします。</p>
会長	<p>どうでしょうか。委員、どうですか。</p>
委員	<p>そのような各市町村はやめて、一か所にした方がよい。大事なことですのでまとめて、委員の言うとおりで窓口は一本でかまいません。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>そういう意味の持参であれば、例えば高等学校課か、本庁の方への持参は OK にした方がいいかと思いますがどうでしょう。</p>
会長	<p>はい、そういう意見について、委員はいかがでしょう。</p>
委員	<p>やはり皆さんがおっしゃるように、取扱いの問題というのがありますし、あまりそういうものは、ばらけるよりも、やはり窓口は一本化の方がシンプルではないかというふうに思います。</p> <p>あと、その 6 項目に応募期間というの、30 日になるのか何日になるのかという、これからの議論だと思いますが、考えたり色々していくうえで、その日数が案外短く感じるかもしれませんので、やはり窓口としては、応募する側も整理する側も両方のためを考えると、やはり一本化という方がシンプルでいいのではないかというふうに、私は思います。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。委員はいかがでしょう。</p>
委員	<p>はい、私も持参する場合は、県教育委員会だけにした方がいいのではないかなと思います。あとは、遠方の方は申し訳ないですけど、FAX とか電子メール、郵送等をご利用いただいたらと思います。</p>
会長	<p>はい、では委員、いかがでしょう。</p>
委員	<p>はい、私もそのように思います。県教育委員会なり、事務局を一つ設定していただいて、そこに持参いただくという方法がよろしいかと思います。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。紆余曲折がありました、一応皆さんのご意見と、私の意見も含めてまとめますと、電子メール・FAX・郵送、及び県教育委員会への持参ということで決</p>

	めたいですが、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
会長	はい、ありがとうございます。当然のことながら、対象外の方法を書くっていうのが私には理解できないのですが、応募方法が書いてある、それ以外は全部対象外なので、この項目は不要だと思います。 対象外でもなく、提出方法でもないものが来たらどうしようかと逆になってしまいますので、これは除けておきます。
委員	よろしいですか。
会長	はい。
委員	ただし、それ以外の方法で受け付けられませんということは、明記をしておかないといけないと思います。
会長	ああ、そうです、おっしゃるとおりです、はい。提出方法は、何とか何とか何とかです。それ以外の方法では受け付けられませんと。 次に、書いていただく項目ですが、記載内容について、まず校名と読み方、これは異論がないと思いますので、これを書いていただく。 それから、理由・由来、これも今までの議論からして、当然必要なことと考えてよろしいでしょうか。
各委員	はい。
会長	はい、それから次に、応募者の属性を決定する資料として、名前は必要でしょうが、年齢について他県ですと、書く県と任意だというところがあります。それから性別については、任意か問わない。住所については、必要か任意と分かれています、この辺は不要というのは多分なくて、任意か必要のどちらかだと思います。 それでは、まず年齢について、どのようなご意見かお聞かせいただけたらと思います。
会長	はい、どうぞ。
委員	校名に年齢がどう関わるかというのは、ちょっと私も分かりませんが、どういった年齢層の人たちがこれに応募してくれているのかを知ることは大事なのかなと。中学生が多いとか、小学生が多いとか、高校生が多いとか、そういう若い人たちが多いのか、あるいは一定の年齢に達せられた方が多いのか、その

	<p>辺はきちっと見極めたうえで今後の学校運営、学校経営の方にも活かしていけるのかなという気がします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他に何かご意見ありますでしょうか。</p> <p>少し事務局にお聞きしますが、ここで得た属性は、このアンケートというか公募に使われる以外には使わないということを表記して、秘密保護にはちゃんと配慮するということは表示するわけですね。</p>
企画監	<p>はい、通常こういった場合、個人情報保護条例もございますので、この目的のみに使用させていただきますという表記をしたうえで、個人情報について記入していただくということになっております。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。</p>
委員	<p>年齢の件ですね。1名の応募数が1案であるということの縛りがあるのであれば、同姓同名の方は全国にたくさんおいでると思いますので、年齢があれば、そこの重複部分は避けられるのではないかと思うので、個人情報を守るという条件下で年齢をいただくというのはいいのではないかと思います。</p>
会長	<p>他に何かご意見ありますでしょうか。では、年齢を書き添えていただくということでもよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>〈 異議なし 〉</p>
会長	<p>はい、どうもありがとうございます。次は性別ですが、これについてはどういたしましょうか。</p>
委員	<p>不要だと思います。</p>
会長	<p>委員は不要、はい。他に何かご意見ありませんか。</p>
委員	<p>大体名前で分かるような。最近フラットな名前もありますけれど。別に性別は、必要ない。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>そうですね、私も不要だと思います。先ほど委員がおっしゃられたように、やはり一人1案という縛りがあるので、その方が一人1案しか出していないのっていうところは、きちんと確認する必要があると思うのですが、それにはやはり、住所とかそういったもので特定ができますので、性別は不要だというふうに考えます。</p>

会長	<p>はい、ありがとうございます。この公募の内容を考えますと、性別は全く無関係な内容なので、これは不要ということによろしいでしょうか。</p> <p>統計上、男性と女性、どういう分布の差があるかとか、そういうものを取ることが重要なものについては書いていただかないと困るんですが、この場合には、そういう目的ではありませんので、書かなくてよいということによろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
会長	<p>はい、では続きまして、住所ですがいかがでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	はい、これは特定するのに必要だと思います。
会長	はい、ありがとうございます。他に何かご意見は。
各委員	賛成です。
会長	では、必要だということによろしいでしょうか。
各委員	はい。
会長	はい、ありがとうございます。最後に、電話番号はいかがでしょうか。 はい、どうぞ。
委員	はい、電話番号は不要ではないかというふうに思います。また、例えば電子メールとかですと、そこにアドレスもありますし、電話は不要じゃないかと私は思いますけれども。
会長	<p>はい、他に何か。よろしいでしょうか。</p> <p>これも、電話をもって問い合わせる内容ではございませんので、私も不要だと思いますが、不要ということによろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>では、続きまして、募集期間ですが、今のスケジュールでいくと事務局としては、最長何日くらい取れるというふうにお考えでしょうか。それが分からないと、私たち決めようがないので。</p>
教育長	公募をいつから開始できるかということに関わってくると思いますけれども、通常ですと30日ということですが、そ

	<p>れがあまり倍ということになると、その後ちょっと差し障りが出るかなと思います。他県の例にあるように45日とか、そういう程度であれば問題はないと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>ということで、何日公募をするかということですが、私も回答者にさせられたこととか、こういう公募に携わったことがあります。ごく一般的には30日、一か月というのが標準のようですので、他県にも30日、34日、なんで34日なのかよく分からないですし、45日もあります。今回の公募は30日ということではよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、では30日ということにしたいと思います。</p> <p>次に募集の周知方法ですが、これを他県、3つの県では教育委員会のホームページ、それから、開設準備室のホームページというようなことになっていますが、今回の公募については、どこで告知しますでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>私はこれを見て、県教育委員会のホームページ、これだけで足りるのかなというふうな感じが少しありました。まして、広くであれば、例えばホームページでインターネットを見れる人からというふうに、もうそこで一つ縛りができてしまうので、全国で、もしくは県内でもですけれど、広く募集するというのは、少し入り口が狭すぎるのではないかなというふうに思います。</p> <p>今日は、報道の方も来ていらっしゃる。例えば、県からのお知らせということで、テレビの中でお知らせ願うことも可能でしょうし、それから、『あかるいまち』などの中に入れてもらうとか、新聞に載せていただくとか、できるだけ幅広く、県内の広告というか、お知らせに関しても手厚くしていく方がいいと思います。</p> <p>やはり、このホームページだけというのは非常に、ネットを見ない高齢の方とかの門戸を閉ざしてしまうことになってしまいますので、そのあたりは手厚く考えてもらった方がいいかなというふうに思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。他に何かご意見ありますでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>すみません、私も幅広い方がよろしいとは思いますが、予算との関係で、そういうことができるのでしょうかというのが</p>

	<p>よく分からないんですけれど。</p> <p>実は私は、ここへ来る前に業務対策委員会に行っておりまして、そこでは非常に、広報をしたいけど予算がないみたいな話をすごくしていましたので、県の方はその辺はどうなっているのかというのが、全く不案内でございまして。</p>
企画監	<p>はい、広報をするための予算というのは、特に正直かまえておりませんが、例えばですけれど、先ほど委員が言われました県の広報誌、『さんSUN高知』ですとか、それから県の広報枠というのが一定ありますので、無料で例えばラジオ、テレビなどでお知らせすることは可能です。</p>
委員	<p>なるだけこう、テレビの方も後ろにいらっしゃいますけど、やはりその伝言板的に、県内のニュースであればそこを有料とかいうことではなく、一つのお知らせとしてということも可能だと思いますし、その辺りは広く、お問い合わせもするなりして、可能な限り広報を行っていただきたいです。</p> <p>あと、そうなってくると、チラシを作ったらまたお金がかかるとかいうようなことにもなりますでしょうし、できるだけ無料で使える広告方法というのを考えられたらいいと思います。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。他に何かご意見ありますか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>やはり言うとおりで、昔、新設の高校というのと、あまりそういう学校ができるよと言われても、ピンとこなかったようなことがありました。やはり、こういうふうなことをやるのであれば、もっと幅広く県下、またそれを使って、『さんSUN高知』であれば県外にも出していますので、そういうふうな形でもっていかないと、また「知らぬ間に終わった」ということになり得る可能性というのも多分にあると思います。</p> <p>そこはもうしっかりラジオ、電波を使いながら、『さんSUN高知』も使いながらやることを考えていかないと、今この議論だけでなく、全体的に全国で、また外国へも聞かないといけないので、その辺は色々と探してやられた方がいいと思います。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>はい、校名の検討委員会としては適当な発言ではないのかもしれないかもしれませんが、先ほどの議論の中でも、この機会を利用して県民に周知を図ると、期待度を高めるということがございましたので、まさにそうだろうなと思うんですね。</p> <p>ただお知らせされても、それで関心は高まらない、自分が関わるといいう中で関心が高まっていくのだろうと思いますので、ぜひこれをそういうチャンスだと捉えて、校名を決めると</p>

	<p>同時に県民の皆さん、県民だけじゃないのかもしれませんが、広くそれに関心を持つ方をどんどん増やして行って、高めて行ってということで取り組まれる方がいいのかなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>いろんな広報でお知らせいただくというのは、それはいろんな機会を使ってやらせていただいたらいいと思いますが、ただ、後から検討する予定の今配っていただいたこの写真とかも含めて、そういうことをやはり知らせていきたいということがあるので、そうすると少し資料が多いので、ちょっとしたことではなかなか伝えられないと思います。</p> <p>それと、こういうことになっていますよ、というのは伝わっても、結局出そうと思ったらホームページへ行かないといけないというのは、ちょっと苦しいので、そういう時こそ市町村だったり、学校だったり、そこまで取り組めていけば、どこそこにありますということを書いてくれたら、そこへ取りに行くことができると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。他に何かご意見ありますでしょうか。</p> <p>皆さんのご意見は、ホームページだけでは不十分ではないかというご意見で一致していると思います。それで、その中で出てきましたアイディアは県の広報誌、その他を使う。それからラジオ、テレビの時間帯を使う。ただし、ボリュームが小さいのでなかなか難しい。</p> <p>そこでもう一つは、多分、教育委員会が前面に出て、高知の新しい高校教育をどう考えているかということ、もっともっとマスコミに親切的な記者会見をやるというのが一番だと思います。</p> <p>記者会見を親切的にやりますと、結構大きな記事にしてくださいというのが常のようですので、ちょっと事務局の方でその辺を考えて、校名を考えるとということを最後にぶつけるんですが、今、高知県は教育をどういうふうにしたいか、するべきだと考えているか、というような話を記者会見でされたらいいんじゃないかと思います。</p> <p>本日お見えのマスコミの方々、会長がそう言っていたとぜひ上司にお伝えください。</p> <p>その辺、私も経験がいくつかありますので、事務局のお手伝いができると思いますが、ホームページ以外のことを積極的に取り入れるということで、周知方法としたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。</p>



委員	<p>関連してですけれど、それは全然異論ございません。</p> <p>先ほど、委員がおっしゃいましたけど、応募するのに応募用紙はどこにあるのかと、自分でネットからダウンロードしないと応募用紙が手に入らないというのは、ちょっとしんどいかなと。だから、せめて応募用紙は近くの県立の学校にあるとか、どこそこにあるとか、広くペーパーとして身近な所に置いていただくのがいいのかなと思います。</p>
会長	<p>はい、これに対しては大きな問題はなさそうなので、なるべく広範な場所で入手できるように、事務局の方で案を考えておいていただけますか。</p> <p>これ、大切なことなんですね。私の年齢でも時々パソコンでやるのが嫌になって、紙がほしいなと思うことがありますので、高知県には結構私より上の方がたくさんお住まいなので、そういう方はちょっと取りに行行って書き込みたいと思われると思いますので、ちょっと方法を考えていただきたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>それでは、続きまして、8番目の公募結果の公表ですが、これもまさに広報の周知と同じ考え方でよろしいでしょうか。ホームページに行かなければ分からないというんじゃないかと、皆さんありがとうございますということを含めて、なるべくマスコミをうまく使ってということにいたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
会長	<p>次に、9番目の応募結果の数の取扱に関する記載についてですが、2つの県では記載してない、それから、2つの県では限らないというふうに記載されているというのですが、この件についてはどのようにしたらよろしいでしょうか。ご意見をお聞かせください。</p>
会長	はい、どうぞ。
委員	<p>限らないというのがベターかなと思っています。一切記載がないと、たくさん集めればその学校名になると誤解を招く可能性もありますので、当然多くのご意見があるということは重く受け止めるべきだろうとは思いますが、しかし、誤解を生まないためには、限らないという記載が大事かなと思います。</p>
会長	はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。
委員	私も委員と同じく、やはり最初にそういう話をしてもらって、そこら辺は応募多数の名称が選ばれるとは限らないという形で書いた方がいいと思います。

会長	<p>はい、ありがとうございます。他に何かご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、応募多数の名称が必ずしも選ばれるわけではないということは記載する、ということではよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>〈 異議なし 〉</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。次に校名案の扱いですが、記載してない県が1県、応募のあった校名案から絞り込む、それから、合成することもあるという、いろんな意見があるんですがいかがでしょうか。</p>
会長	<p>はい、どうぞ、お願いします。</p>
委員	<p>基本的には、応募のあった校名をそのまま採用せずに、一部のカードで、複数をなんかシャッフルするみたいな、これは別に、こんなことするんだったら公募の意味がないような気がしますので、やはり応募のあった校名案から絞り込むっていうのが、一番ナチュラルじゃないかなというふうには、私は思いますけれど、みなさんどうか分かりませんが。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>私も同じく、そうだと思います。やはりその理由・由来ということを書くので、それをまた一部のもので勝手にしたら、余計おかしくなると思います。私は、応募のあった校名案から絞り込むという形がいいと思います。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他に何かご意見は。はい、どうぞ。</p>
委員	<p>すみません、この参考資料の3-2を見ると、滋賀県のところに書いてあるのですが、滋賀県3-1の資料を見ますと、整理としては、「応募のあった校名案から絞り込む」という整理になっていますが、この校名の決定方法というところを見ても、「参考にして教育委員会において選定します」というふうに書いてあるので、この整理が正しいんだろうかというのが、ちょっとよく分からなかったんです。</p> <p>私の個人的な考えとしては、この滋賀に書いてある程度の記載をしておくということではいいのかなと。「参考にして選定をします」という記載でよろしいのではないのかなというふうに考えます。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>

委員	<p>私も委員の意見に賛成です。応募がないとは全く思いませんけども、極端なことを言えば応募がなければ、じゃあ決められないのかということにもなってしまうわけで、公募する以上は、応募していただいた校名は大事に扱っていくわけですけども、そういうようなことをベースにしながらも、この検討委員会できちっと整理をして決めるべきだろうと思っています。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。ほかに何かご意見ありますでしょうか。委員、どうでしょう。</p>
委員	<p>私も今の意見に賛成です。ここの書き方で、一部のものと書いてあるのは、非常に少なかった時に、このような心配もあったかもしれないなと思ったのですけれど。</p> <p>たくさん応募してくださるような呼びかけというか、たくさんというよりは、やはりみんなで高校を盛り上げていくという、教育を活性化するという、そういう意味でたくさん応募してもらおうという、そこへ力を入れたら、多分、こういうことは必要なくなると思うので、書き方としては先ほど言ったようなことでいいと思います。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。他に何かご意見ありますでしょうか。</p> <p>私も、参考にしてここで絞り込むという、ここが主体であるということの明確なメッセージで、皆さん、いいアイデアをお送りくださいというお願いに繋がると思っていますので、私も滋賀県の書かれている書き方を参考にして書くということに賛成なんですけど、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>〈 異議なし 〉</p>
会長	<p>はい、ではそうさせていただきます。</p> <p>それから次に、意見を聴く際の参考資料とは、これはどういう意味ですか。</p>
企画監	<p>すみません、公募を行う際の県民の方から意見を聴くという意味です。公募をする際の参考資料ということです。</p>
会長	<p>先ほどの4と5の資料のことですか。4と5の資料を付けるという、付けている所がありますということですね。で、それを、概要を箇条書きにしているとか、イメージ図及び云々と、こうなっているということですね。</p> <p>資料としては、この資料でよろしいでしょうか。少し次回のことにも関係しますが、これは一応、現時点ではこの資料でよいということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>

各委員	<p>〈 異議なし 〉</p>
会長	<p>はい、次に実施機関ですが、これは検討委員会及び開校準備委員会とか懇話会とか、いろんな立場の方がされていますが、これはこの検討委員会が教育委員会の下にできているといっても、インディペンデント（独立した）は委員会だというふうには私は理解しておりますので、教育委員会事務局にお願いするのは随分間違いだということで、事務は実際にやってもらいますが、実施機関としては、この委員会ということではいかがでしょうか。</p> <p>終始、我々が責任を持つということで、ただし、我々はほかに仕事を持っておりますので、事務的なことは事務局の方にお願いするということではよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
会長	<p>はい、それでは提出先ですが、この提出先というのは、先ほどの内容からいくと、もう意味がない議論ですね。メールならメール番号です。FAXならFAX番号、手紙なら教育委員会、それから先ほどの場所にとということで、教育委員会のどこかの部署が直接受け取る窓口ということで、これはもう必要ないですね。</p> <p>ということで、12までご協議いただいたんですが、一応ちょっと時間がありますので、私なりにメモを確認したいと思います。何か間違っておりましたらご指摘ください。</p> <p>応募資格については、1案を対象範囲として、全国。国籍、年齢を問わない。それから、応募用紙を必ず作る。</p> <p>そして、提出方法は、電子メール、FAX、郵送、県教育委員会に持参。それから、対象外の方法は受けない。それから、大事な提案は、校名、読み方、理由・由来。</p> <p>それから、属性としては、名前、年齢、住所。</p> <p>それから、募集期間は30日。</p> <p>募集の周知方法は、教育委員会ホームページ、県広報等、プラスマスメディア。</p> <p>それから、公募結果の公表は、募集の周知方法と同じ。</p> <p>それから、9番の募集結果の数の取扱に関する記載は、「応募多数の名称が選ばれるとは限らない」と記載する。</p> <p>それから、校名案の扱いについては、滋賀県の方に書いてあります、「応募いただいた校名を参考にして選定します」というふうに記載する。</p> <p>それから、参考資料は、現時点では本日の資料とする。</p> <p>ということでご協議いただいたと理解していますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>はい。</p>

委員	一つよろしいでしょうか。
会長	はい、どうぞ。
委員	聞き間違えたかも分かりませんが、応募方法のところの対象外の方法のところでは、応募要領に「他には受け付けない」と記載するということ。
会長	それを入れることを言い忘れました。「上記以外の方法は受け付けない」というのを一言入れる。よろしいでしょうか。
委員	すみません、単純なことです。
会長	はい、どうぞ。
委員	2つの学校について今、協議しているわけですが、応募用紙は、一人が別々の学校に対しての意見は当然言えるわけですよ。
会長	そうですね、はい。
委員	そうすると、応募用紙っていうのは2種類できるっていう押さえでよろしいのでしょうか。
会長	私はそういうふうに理解していますが、それで問題ありますでしょうか。よろしいですか。
委員	はい。
会長	ありがとうございます。何か間違えて、クロスして出してしまう人が現れそうな気がしますね。 それでは、本日の協議内容は以上で終了でございますが、私の方から委員の皆さんと協議したい内容が一つございます。 それは、前回の会議で、高知西高校の学校代表から私たち委員に、「学校に視察に来て、生徒の様子を見てもらいたい」という意見がありました。このことについて当検討委員会としてはどのように対応するか、委員の皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。
	はい、どうぞ。
委員	そうですね、委員として、そういうご要望があったということであれば、できる限りのことはした方がよろしいのではないかなというふうに思っております。 ただ、訪問をする際に、片方には、たまたま多くの委員が行けて、片方には行けないということがないように、平等になる

	<p>ような形でアレンジをできればいいかなというふうに考えます。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。</p>
委員	<p>はい、それと、訪問をするっていうことであれば4校、今ありますよね、須崎の方を含めて。それはもう平等に4校、回らせていただくということを前提にした方がよいと思います。</p>
会長	<p>私の提案は、それぞれの統合校に関係する2校を、それぞれ見学させていただくという提案であります。やはり、事が進みつつあって、実情を全く知らない状態で今後、絞り込みとかいうことが必要になるかもしれませんが、やはりその時に、見たという経験が役に立つと思うので、私としてはぜひ訪問したいと思うわけで、ということで、皆さんの意見をお聞きしたいと思います。</p>
各委員	<p>賛成です。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。それでは、私どもとしては、絞り込み等について役に立つという思いがあるということで、4校を訪問させていただくということでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
会長	<p>日程等については、事務局に調整していただいておりますので、これは事務局の方でよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の協議事項は以上をもって終了となります。本日ご協議いただいた意見について、整理したものを確認する必要があると、私個人で思っております。本日ただ今、私なりにまとめさせていただきましたが、非常に重要なことを決めたので、確認の会議をもう一回開きたいと思っております。</p> <p>そういうことで、学校訪問ともう一回確認の会議をするということでご了承いただけますでしょうか。</p>
各委員	<p>〈 異議なし 〉</p>
会長	<p>その時に、参考資料4・5について、今渡されてすぐというのは非常に難しい問題があると思います。ぜひ目を通していただいておりますので、次回の確認の時に情報の取捨選択、あるいは追加、これをお願いしたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>はい。</p>

会長	事務局もその用意をしておいてください。 それでは、今後の日程調整については、事務局の方から連絡がありますのでよろしく願いいたします。よろしいでしょうか。
各委員	はい。
会長	それでは、その他、委員の皆様から何かありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

#### 【事務連絡等・閉会】

会長	では、事務局の方は何かありますでしょうか。
企画監	特にございません。
会長	ありませんか、はい。 それでは委員の皆様、本日は熱心な協議、お疲れさまでございました。進行を事務局にお返しいたします。
司会	失礼いたします。会長、会の進行、ありがとうございました。また、委員の皆様方、熱心なご議論をありがとうございました。 それでは、以上をもちまして、第3回高知県立学校の校名に関する検討委員会を閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。
全員	ありがとうございました。